

# しゃつきー

- 令和5年度事業報告と決算
- 社協の会員会費制度
- 生活支援コーディネーターが素敵な活動を紹介します
- 厚岸町立特別養護老人ホーム心和園だより
- 在宅老人デイサービスセンターだより
- 【新企画】 あっけし昔ばなし～丹羽武彦さん



みんなの憩いの場「コミュニティカフェ～なごみ～」。  
ボランティア団体を中心となり、各地域に赴いて飲み物を飲みながらのんびりくつろげる場を月に1度のペースで提供しています。地域の方に限らずどなたでも参加可能となっておりますので興味のある方は是非足を運んでみてください。



# 令和5年度事業報告と決算

5月31日開催の本会評議員会にて、令和5年度事業報告と決算が承認されましたので公表します。

## 事業報告(総括)

我が国においては、本格的な少子高齢化・人口減少社会に突入し単身世帯が増えるなか、家族や地域でたすけあうといったつながりはますます希薄になっています。また、本年から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類」に変更され、コロナ禍以前の生活を取り戻しつつある一方で、あらゆる場面で新たな生活様式が生まれています。

こういった社会を取り巻く環境が大きく変化する中で、従来の制度・分野の枠の中に当てはまりにくい、複雑化・複合化した課題も顕在化しています。

令和5年度は、こうした状況を踏まえ、既存の福祉制度だけでは、生きる上で困難・生きづらさがある課題に対し、人と人とのつながりや参加の

機会を生み育む多様な活動を通して対応していく重層的支援体制整備事業の構築を意識した取組を進めるとともに、訪問介護事業、居宅介護支援事業、通所介護事業、特別養護老人ホーム心和園など、利用者の命を守る福祉現場では、サービスが切れ目なく提供できるよう安定的・継続的な事業運営に努めました。

特に、地域福祉の分野では、人々が地域社会とつながりをもちながら安心して生活を送ることのできる「地域共生社会」の実現を目指し、地域でつながり、支え合うことの大切さを意識していただく機会を提供するために、世代を超えた「居場所」づくりや、新たな交流の場での「つながり」の創造、ライフスタイルや興味・関心に応じ誰もが参画できる「支え合い」を促進する取組を進めました。

## 各事業報告

### 1 法人本部事業

#### (1) 法人運営事業

■役員会等の開催 三役会議/年7回、理事会/年5回、評議員会/年4回、監査/年4回

■部会・委員会の開催 総務・地域部会/年2回、民児厚生部会・福祉相談所運営委員会合同会議/年2回、苦情解決第三者委員会/年1回

■内部委員会の開催 法人在宅通所衛生委員会/年1回、在宅サービス感染予防対策委員会/年2回、広報委員会/年4回

■広報活動 社協だより発行/年4回、ホームページの更新(随時)

#### (2) 地域福祉推進

■緊急情報キット「かけはし」配布事業 実施地区(自治会)/12地区、設置件数/266件

■たすけあいチーム助成事業 助成件数/8団体、助成総額/18



既存の枠にとらわれない  
交流の場の創出

[左]子育て支援から発展した多世代  
交流型スペース「あつまーる」

[右]まちなかの共同農園で  
の農業体験を通じ交流を育  
む「社協めぐり」



3,550円

■地域福祉懇談会（座談会）  
の実施 2地区（宮園丘陵・住  
の江）

■厚岸町障害者（児）ふれあ  
いフェスティバル「こう福祉  
21」への支援・参加 10月2  
9日

■第14回厚岸町社会福祉大会  
の開催 11月12日 参加者98名

(3) ボランティアセンター運  
営事業

■ボランティアセンター運営  
委員会の開催 年2回

■ボランティアバンク体制整  
備 個人登録69名、団体登録/  
7団体

■ファミリーサポート事業  
会員状況/依頼会員30名・提供  
会員9名・両方会員1名、活動  
件数/延57件、説明会/年2回  
（随時）、交流・研修会/年1回

■ハートコール事業 利用対  
象者/1名、コール回数/延46回、  
協力ボランティア/1名

■災害ボランティア推進連絡  
会の開催 年1回

■ボランティア研修会の実施  
2月18日/参加者20名

■福祉教育の推進（「福祉の  
学習」出前学習会） 町内小  
学校/計4回

■釧路地区ボランティア活動  
推進会議への出席 年1回

(4) 資金貸付事業

■生活福祉資金貸付事業 低  
所得者・障害者・高齢者世帯  
支援や就労支援を目的に貸付  
新規貸付0件 貸付累計/27件  
（内19件はコロナ特例貸付）

■低所得者資金貸付事業  
貸付援助における生活向上と  
意欲の助長促進 新規貸付1件、  
50,000円

(5) 権利擁護事業

■日常生活自立支援事業 継  
続件数/7件、新規件数/0件、  
終結件数/0件（年度末件数/7  
件）

■法人後見 継続受任件数/6  
件、新規受任件数/0件、受任  
終了件数/4件（年度末件数/2  
件）

## 2 受託事業

(1) 福祉バス運行管理事業

■福祉バス「あやめ号」の運  
行管理 運行日数/107日、利  
用人数/延1,750名

(2) 一般介護予防事業（元気  
いきいき教室）

第1回クール(4～6月)延241名

第2回クール(7～9月)延193名

第3回クール(10～12月)延186  
名

第4回クール(1～3月)延177名

(3) 福祉相談事業

地区相談所/各民生委員宅へ常  
設、中央福祉相談所/隔月1回、  
無料法律相談/年3回(延7件)

(4) 成年後見制度推進事業

▽相談対応業務/相談件数48件  
（うち新規10件）▽普及啓発  
業務/チラシやパンフレットに  
よる成年後見制度の周知▽  
申立等の支援に関する業務/申  
立支援件数1件▽市民後見人  
等の登録/登録者12名▽市民  
後見人フォローアップ研修の  
開催(年1回)▽会議の開催/  
実施機関運営協議会(年1回)

(5) 生活支援体制整備事業

▽生活支援コーディネーター  
の配置/職員1名▽生活支援  
等サービスおたすけ隊の提供/  
活動実績36回▽公的機関や  
民間活動団体とのネットワー  
ク構築 民生委員児童委員協  
議会部会での事業説明/2回  
▽ボランティア団体や地縁組  
織等への支援/3団体▽ボラ  
ンティア養成講座/年1回（あ  
そぼーの共催）▽厚岸町地域  
支えあいネットワーク会議  
（協議体）の開催/年1回



共感と主体性をもった  
「人と人の繋がり」の強化

[左]住民同士の助け合い精  
神で困りごとを解決する会  
員制サービス「おたすけ隊」

[右]町内各所で開催し、誰でも立  
ち寄ることができる和みの場所  
「コミュニティカフェ」



## (6) 重層的支援体制整備移行準備事業

▽社協アグリ（農業と福祉の連携）の企画実施/5月～10月  
▽ふれあい会食会の実施 年12回 延209人参加  
▽コミュニティカフェの開催/1回開催  
▽多世代共生型スペース「あつまーる」の支援/年4回  
▽ボランティアポイント制度の立ち上げ・運用  
対象者43名（うち報酬対象者6名）

## 3 訪問介護サービス事業

### (1) 訪問介護事業

要介護者対象の訪問介護サービスの提供 身体介護1,483回、生活援助4,898回、身体生活混合1,112回、通院等乗降介助2,528回

### (2) 第一号訪問介護事業

要支援者対象の訪問介護サービスの提供799回

### (3) 障害福祉サービス事業

障害者の自立支援を目的とした訪問介護サービスの提供801回

### (4) 生活管理指導員派遣事業

介護保険非該当高齢者への援助 62回

### (5) 外出支援サービス事業

身体障がい者を対象とした福祉車両による送迎406回（片道換算）

### (6) 福祉有償運送

高齢者等の要介護者を対象とした福祉車両での移送3,632回

## 4 居宅介護支援事業

介護保険制度の各種サービス利用に際してケアプランを作成、サービス調整（以下、延人数）

要支援1[178名]、要支援2[176名]、要介護1[1,000名]、要介護2[495名]、要介護3[198名]、要介護4[102名]、要介護5[28名]

## 5 施設介護サービス事業

### (1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム心和園）

施設介護サービス（多床室：定員50名）の提供、利用状況/延16,475名（稼働率90.0%）

### (2) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（特別養護老人ホーム心和園）

施設介護サービス（ユニット型：定員18名）の提供、利用状況/延6,306名（稼働率95.7%）

### (3) 短期入所生活介護事業

短期入所生活介護サービスの提供、利用状況/延6,465名

### (4) 障害福祉サービス事業

障害者の自立支援を目的とした短期入所サービスの提供、利用状況/延345名

## 6 通所介護サービス事業

### (1) 通所介護サービス事業

要介護者対象の通所介護サービスの提供、利用状況/延6,407名

### (2) 訪問入浴介護（介護予防含）

訪問入浴サービスの提供、利用状況/延20名

### (3) 第一号通所介護事業

要支援者対象の通所介護サー

ビスの提供、利用状況/延1,508名

### (4) 生きがい活動支援通所事業

介護保険制度外による入浴・食事などのサービス提供、利用回数/延206回

### (5) 配食サービス事業

65歳以上のひとり・夫婦世帯を対象に食事を配達、利用回数/延1,606回

### (6) 身体障害者デイサービス事業

障害者を対象に入浴・食事・創作活動等のサービス提供、利用回数/延140回

### (7) 身体障害者訪問入浴サービス事業

障害者を対象に訪問入浴サービス提供、利用回数/延88回

## 7 福祉センター運営事業

### ■貸館利用状況

利用件数/414件、利用人数/延8,055名、施設整備状況/自動火災報知設備受信機取替工事、雨漏り修繕工事（機械室）、自動ドア装置修繕、玄関スロープゴムチップタイル張替、LED電球等取替、石油ストーブ分解清掃、2階会議室等照明器具LED化工事、2階トイレ改修・廊下等塗装工事、2階女子トイレ可動式手摺取付工事、非常灯補修電気工事（※工事費10万円以上掲載）



## 決算の概要

社協の決算書は、貸借対照表、事業活動計算書、資金収支計算書の3種類の計算書に加え、付属明細書と財産目録で作成されます。

貸借対照表は、会計年度末時点における資産・負債・純資産の財政状態を表した計算書です。「資産＝負債＋純資産」又は「資産－負債＝純資

産」という等式が成立します。事業活動計算書は、民間でいう損益計算書にあたるもので、一会計年度における事業活動による経営成果を把握するための計算書です。事業活動の収益と費用は損得と捉えることができます。

資金収支計算書は、「お金が増えたかどうか？」など、

一定期間（会計年度）の支払資金（流動資産－流動負債）の増減を表す計算書です。この計算書で予算が作成され、計算書からは「予算どおり資金運用できたか?」、「最終的なお金の残高は?」などを確認できます。

貸借対照表（要旨） 【単位：円】

	前年度 (2023.3.31現在)	令和5年度 (2024.3.31現在)
資産の部		
流動資産		
現金預金	83,971,022	79,740,802
事業未収金	73,648,069	76,125,120
立替金	106,600	108,851
前払費用	199,913	99,956
仮払金	1,693,424	1,611,966
流動資産合計	159,619,028	157,686,695
固定資産		
基本財産(土地・建物・定期)	537,066,158	521,560,931
その他の固定資産		
固定資産	45,607,457	49,797,927
退職手当積立基金預け金	10,221,360	10,947,600
福祉基金積立資産	22,757,191	22,784,691
その他の積立資産	25,227,043	58,908,043
退職給付積立資産	37,541,605	38,672,005
貸付事業貸付金	37,000	11,000
固定資産合計	678,457,814	702,682,197
資産の部合計	838,076,842	860,368,892

負債の部		
流動負債	35,924,724	37,282,247
固定負債	55,056,405	54,353,605
負債の部合計	90,981,129	91,635,852
純資産の部		
基本金	202,794,000	202,794,000
国庫補助金等特別積立金	61,555,232	68,948,731
その他の積立金		
福祉基金積立金	22,757,191	22,784,691
その他の積立金	25,227,043	58,908,043
次期繰越活動増減差額	434,762,247	415,297,575
(うち当期活動増減差額)	△ 24,903,719	14,243,828
純資産の部合計	747,095,713	768,733,040
負債及び純資産の部合計	838,076,842	860,368,892

事業活動計算書（要旨） 【単位：円】

	前年度 自2022.4.01 至2023.3.31	令和5年度 自2023.4.01 至2024.3.31
サービス活動収益計	559,024,487	583,634,327
サービス活動費用計	591,527,286	589,870,210
サービス活動増減差額(1)	△ 32,502,799	△ 6,235,883
サービス活動外収益計	1,590,400	607,214
サービス活動外費用計	241,320	145,500
サービス活動外増減差額(2)	1,349,080	461,714
経常増減差額(3) = (1)+(2)	△ 31,153,719	△ 5,774,169
特別収益計	6,250,000	20,018,000
特別費用計	0	3
特別増減差額(4)	6,250,000	20,017,997
当期活動増減差額(5) = (3)+(4)	△ 24,903,719	14,243,828
前期繰越活動増減差額(6)	430,594,190	434,762,247
当期末繰越活動増減差額(7) = (5)+(6)	405,690,471	449,006,075
その他の積立金取崩額(8)	29,325,900	3,066,000
その他の積立金積立額(9)	254,124	36,774,500
負債の部合計(10) = (7)+(8)-(9)	434,762,247	415,297,575

資金収支計算書（要旨） 【単位：円】

	予算額 自2023.4.01 至2024.3.31	決算額 自2023.4.01 至2024.3.31
事業活動収入計	589,016,000	584,317,541
事業活動支出計	564,526,000	552,840,251
事業活動資金収支差額	24,490,000	31,477,290
施設整備等収入計	20,018,000	20,018,000
施設整備等支出計	26,398,000	26,395,006
施設整備等資金収支差額	△ 6,380,000	△ 6,377,006
その他の活動収入計	11,767,000	7,264,565
その他の活動支出計	47,501,000	42,948,345
その他の活動資金収支差額	△ 35,734,000	△ 35,683,780
当期資金収支差額合計	△ 17,624,000	△ 10,583,496
前期末支払資金残高	133,969,000	133,968,384
当期末支払資金残高	116,345,000	123,384,888

互いに支え合う福祉のまちづくり

# 社協の会員会費制度

会員加入のお願い

## 「社協の会員」ってなに？

社協は「会員」のみなさまからご協力いただく会費を財源として、住み慣れた地域で安心して暮らせるようにさまざまな地域福祉活動を行っています。

「社協会員」とは、地域福祉活動の推進にご賛同いただき、資金面で支えていただく方々のことで、資金面での社協のサポーターとして、地域福祉活動に参加するひとつの方法となっています。

## 会費の種類

会費の種類は右の図のとおりですが、自治会に加入されていない方については社協窓口で受け付けていますので、ご協力をお願いします。

会員の種類	金額(年額)	内容
一般会員会費	500円	・町内の各世帯にご協力をいただいている会費です。 ・会費納入は各自治会に協力をお願いしています。
特別会員会費	1,000円～5,000円	・企業、団体、個人にご協力いただいている会費です。

## 会費は地域福祉の事業の財源に使われています



一般会員会費		
2,470世帯(30自治会)	1,235,000円	
特別会員会費		
企業・団体・個人	282件	830,000

特別会員会費の内訳は次のとおり。(敬称略)

## ◆ 1号会員会費 (5,000円) 93件

Rスタジオ(株)、秋田歯科医院、厚岸漁業協同組合、厚岸町森林組合、厚岸湊石油(株)、厚岸木材工業協同組合、池田治税理士事務所、磯田元気水産(株)、医療法人厚浜会うえだ歯科医院、医療法人社団田中医院、運上船舶工業(有)、大崎金物店、帯広日産自動車(株)釧路日産厚岸店、北村商店、吉祥寺、釧路太田農業協同組合、栗林電機(株)、堅展実業(株)厚岸蒸溜所、小林板金(株)、桜亭、さくらハイヤー(株)、司法書士長谷川博一事務所、鈴木旅館(株)、セブンイレブン厚岸白浜店、大地みらい信用金庫厚岸支店、大地みらい信用金庫松葉町支店、太平洋設備(株)厚岸営業所、タイヤセンターありはら、田崎土建(株)、土井木材(株)、東岸寺、道東建設工業(株)、肉屋きくち、浜野テント工業、ふくだ歯科クリニック、藤田車輛整備工場、法華寺、堀建設(有)、纏鮎、マル勢影本工業(株)、丸弘水産(株)、三ツ輪ベントス(株)厚岸工場、山崎土建(有)、(株)厚岸調剤薬局、(株)あら川菓子司、(株)共和建設工業所、(株)近海食品、(株)サカイ、(株)佐藤工業、(株)大宝グループゴッド・スロットパーク、(株)丹野商店、(株)ナリテツ、(株)西口電機商会、(株)ホンダオート厚岸、(株)前田食品工場、(株)丸一タバタ、(株)マルトク、(株)宮原組、(有)厚岸海産、(有)厚岸自動車工業、(有)厚岸製函、(有)厚岸清掃社、(有)池田経営サービス、(有)オートショップなかがわ、(有)大場土木、(有)久保自工、(有)佐々木工務店、(有)サンケイ、大厚運輸、(有)中田採石工業、(有)酒井商店、(有)ミナミヤ、朝日芳規、朝日芳史、安達由圃、石塚徹、市川淳一、永川浩志、江幡満、大野繁嗣、柿崎多佳子、葛西松子、斎藤章彦、斉藤健一、滝川敦善、野呂達雄、濱秀利、早川知記、本庄祐長、松見弘文、宮原文憲、若狭純子、若狭靖

## ◆ 2号会員会費 (3,000円) 67件

NPO法人のんき村、あきた生花店、厚岸自動車整備センター(株)、厚岸味覚ターミナル・コンキリエ、一般社団法人地域福祉未来創造社、イワキ理容店、小笠原工務店、けらサービス、工房るうぷ、小林建設(株)、小松鉄工所、青花、高橋電気管理事務所、

トヨタモビリティ釧路(株)厚岸店、中村開発(株)、中村小児歯科クリニック、ネットトヨタ釧路(株)厚岸店、三浦自動車(株)、宮原クリーニング、やすき塗装、リカーショップあつけし、(株)五味石油、(株)福原厚岸店、(株)宮川時計電器店、(有)浅野石油、(有)厚岸印刷、(有)厚岸自販、(有)厚岸マイカーセンター、(有)片岡電器商会、朝日尚子、朝日由美、石澤由紀子、江上圭、大野利春、大村香織、音喜多政東、桂川実、金子勇、亀井泰、川越一寿、藏光貴弘、斎藤章道、佐々木暢彦、佐藤淳一、佐藤有佳子、杉田尚美、鈴木康史、高瀬順一、高橋政一、竹田敏夫、田崎清克、塚田敦子、奈尾和哉、中川孝之、布施英治、星川雅美、堀部誠、堀守、真里谷隆、三浦克宏、湊谷政弘、南谷健、室崎正之、諸井公、四戸岸毅、米内山紘輝、渡部貴志

## ◆ 3号会員会費 (2,000円) 42件

いなば製麺所(有)、真栄木材(株)、天道療法院、(株)黒田商店、(有)岩井商店、五十嵐愉美、石崎辰也、石田秀之、伊藤由弥子、岩間寛、上田幸二、川原田恵、久保田湖子、車塚洋、小池裕子、櫻井唯博、佐藤弘幸、澁谷辰生、清水勝信、清水琴美、菅原雪子、菅原卓己、高橋由紀子、武山悟、丹野正喜、千葉隆行、中田岳史、長田芳幸、中村明美、芳賀宏美、花田亜由子、橋本麻耶、平下哲也、布施丈弘、風呂谷一三、本間直人、本間美和、三浦理子、水野博嘉、宮川知香、余西弘希、脇屋義子

## ◆ 4号会員会費 (1,000円) 80件

穂谷匡彦、朝川美奈子、五十嵐忍、石嶋弘毅、石原かおり、石山優一、岩田結美、内柴孝洋、梅本和法、遠藤こず恵、及川優介、太田麻利子、大利智代美、岡崎清美、小笠原美紀、小笠原晶子、岡村健太郎、奥山夕紀、柿崎史裕、風嵐玲子、方波見光、加藤真奈美、加藤嘉史、金澤一弘、川谷昇平、櫛引真由子、工藤克哉、車塚香保里、古賀栄哲、小島貴志、小島真仁、近藤加津恵、近藤法子、坂井雅人、薩田翔悟、佐藤祥輔、佐藤浩之、佐藤実紀、白石佳代子、神奈緒美、菅原珠子、杉本裕樹、鈴木康平、鈴木智久、外館靖、大丸拓也、大門司、高江洲真、高橋由記、太刀野修、田中由貴子、千葉由起子、出越秀、内藤圭吾、中田修子、中野絹恵、中村由紀子、中屋敷智之、成澤英世、布川恵美、芳賀里香、畑山智史、藤本曜大、布施典子、本庄将之、松尾麻理子、松山毅也、南谷原基、宮川尚史、武藤エリ、本川雄介、本川啓介、森下高、森村佳太、山口達也、山室泰子、山本雄太、吉田剛、吉田直史、吉田昌敏

# NEWS

# &

# TOPICS

★社協の行催事のほか、町内福祉団体の話題などをまとめてお伝えします。

## ■会員研修事業

身体障害者福祉協会厚岸町分会

身体障害者福祉協会厚岸町分会では、新しく4名の方が入会しました。今年度初めての交流の場として、5月15日から1泊2日で十勝方面に町外研修旅行に行きました。新しくなった道の駅おとふけ「なつぞらのふる里」で買い物を楽しみ、十勝なるほどファクトリーでは飲むヨーグルト作り体験・工場内見学等、さまざまな体験をしました。夕食後の交流会では、歌を歌ったり踊ったりと皆さん笑顔で時間を共有し、会員同士の交流も深まる研修となりました。



新会員の4名の皆さんも参加！

## ■会員研修交流会

厚岸町老人クラブ連合会



素敵な歌唱でアンコールも起こりました

6月7日に厚岸町老人クラブ連合会の会員研修交流会を開催しました。長年の老人クラブ活動の功労者表彰では2名が表彰を受けました。

また、演芸発表では多くの会員の皆さんが参加し、会場は終始素敵な歌声で包まれました。今年度は老人クラブ女性部の演芸披露もあり、「幸せなら手をたたこう」を含む3曲を披露し、会場の皆さんも拍手でエールを送り、盛況のうちに幕を閉じました。

## ■社協アグリ

厚岸町社会福祉協議会

梅香地区の一角にある「社協あぐり」(農園)で野菜たちがすくすくと順調に育っています。

4月に作物を植えるための土づくりとビニールハウスを準備し、5月にジャガイモの種イモや、きゅうり、ナスなどの苗をハウス内に植え、6月にはニンジンと枝豆の種を植えました。種植えは子夢希児童館の1・2年生と、ボランティアの方々と一緒に種を撒き、収穫出来る日を心待ちにしていました。



種芋を植えた後ハウス内の苗を見学しました

〈お問い合わせ〉 厚岸町社会福祉協議会 Tel 52-7752

# 生活支援コーディネーターが 素敵な活動を紹介します Vol.2

## コミュニティカフェ なごみ ～各地域をめぐって「居場所」を提供中～

4月から本格的に活動が始まった「コミュニティカフェ」。令和6年度の計画としては月1回の開催を目標とし、毎月第3土曜日を基本としてそれぞれの地域をめぐりながら活動しています。

第1回目となる4月27日の開催は尾幌地区の「尾幌酪農ふれあい館」でした。35名の参加があり、皆さんお友達やボランティアの方たちとの話に花を咲かせ、気づいたらもう終了の時間となっていたという声が多数ありました。

天候にも恵まれ、たくさんの方が参加し、大盛況のうちに終了し、次回への意欲がボランティアの中で高まっていました。



第2回目となる5月18日の開催は太田地区の「太田活性化施設らくとぴあ」にて開催しました。第2回目は35名の方々が参加し、各々好きな飲み物を飲みながらのんびり談笑して過ごしました。

太田地区の開催ではあったものの、太田地区以外からも足を運んでくれた方も多く、終始賑わいを見せていました。

第3回目のコミュニティカフェは宮園鉄北地区にあります「宮園鉄北地区集会所」で6月15日に開催されました。第3回目は25名の参加があり、久しぶりに会ったお友達との再会を喜ぶ声や毎回参加いただいている常連の方など、様々な方々との交流が見られました。

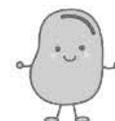
今回も地区に関係なく足を運んで来てくれる方にも多く参加いただき、盛況のうちに終了時間を迎えました。



～次回は7月20日(土)光栄地区コミュニティセンターで開催を予定しています～

■生活のちょっとした困り事やコミュニティカフェについてはこちらまで■  
厚岸町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター芳賀 ☎0153-52-7752

# 第8回 訪問介護のまめまめ知識



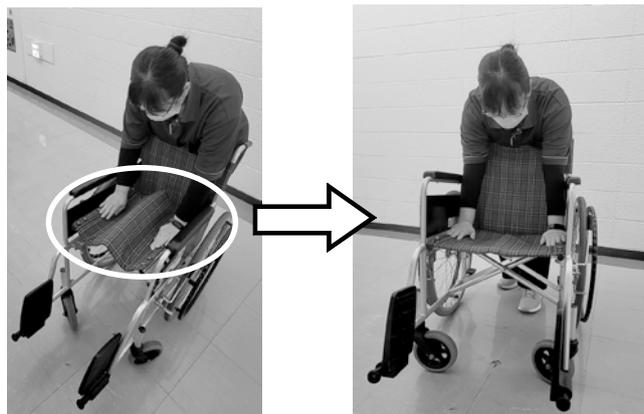
第8回は、「車椅子の正しい使い方について」です。

徐々に暖かくなり、外出の機会が増える季節になりました。病院や買い物の際に、車椅子を使う方を多く見かけるようになりますが、皆さんは、正しい車椅子の使い方をご存じですか？

家族や、親戚が使うようになって初めて車椅子を見た、触った、押した、という方がほとんどではないかと思えます。使い方を間違えると危険で、怪我にもつながりかねないので今回は車椅子について正しく理解し、安全に使えるようにしていきましょう。

## ①車椅子の準備

車椅子を広げる時は、少し開いて座面の両端をぐっと押します。



## ②乗り降り

乗り降りの際は、まずはじめに、しっかりとブレーキをかけましょう。ブレーキをかけないと、車椅子が動いてしまい、危険です。

座る(立ち上がる)時はフットレスト(足台)を上げた状態で行います。

動く時は、足をフットレストに乗せて走りましょう。

押す時は、ゆっくり押しましょう。乗っていると、想像以上に速く、乗っているのが怖いものです。

## ③片付け

車椅子をたたむ時は、座面の真ん中をぐっと持ち上げます。保管時はブレーキも忘れずにかけましょう。



正しく使用し、安全で楽しい外出にしましょう！

# 厚岸町立特別養護老人ホーム心和園だより

## ■本の森厚岸情報館 司書による絵本・紙芝居

### ～雰囲気のある厚岸情報館司書の読み聞かせに夢中～

5月22日、本の森厚岸情報館司書による読み聞かせを開催。

はじめに、版画絵の絵本『しまふくろうのみずうみ』を読み上げ、版画絵ならではの迫力と司書の抑揚のある読み聞かせに見入っていました。

次に『くろずみ小太郎旅日記』と『昭和の窓』という紙芝居を鑑賞しました。紙芝居の木杵、拍子木の音は風情があり、すっかり作品の世界に夢中になっていました。『昭和の窓』は、小さな窓の中の絵をヒントに、昭和時代に使われていたマッチや洗濯板、かまど、黒電話といった製品や商品を言い当てるものでした。昔よく使っていたこともあってか、すぐに答えが出ていました。「懐かしい物ばかりだね」「昔はよく使ったね。」と笑顔で懐かしむ姿もありました。

本の森厚岸情報館のご協力による絵本の読み聞かせ、紙芝居は、8月と10月にも予定しています。



## 在宅老人デイサービスセンターだより

### ■屋外でのデイサービスセンター焼肉会を開催

#### ～外でみんなで食べるご飯はやっぱり美味しい！～

天候に恵まれ、青空のもと屋外焼き肉会を開催しました。

今年は利用者と職員と一緒にテーブルを囲み、炭のいい香りと日差しを感じながら楽しく食事を楽しみました。なかなかゆっくり座りながらお話しする機会が少ないので、普段聞けない話も聞け、たくさんの笑顔と笑い声が飛び交う楽しいお昼のひと時となりました。



### 《 デイサービスセンターからお知らせ 》

利用者手帳を活用して翌週の昼食献立表をお知らせしていますが、前の週にお休みがあると当日の昼食がわからない場合があります。ご家族からも「どのような食事が予定されているのか気になる」と意見があり、厚岸町社会福祉協議会ホームページ内の在宅老人デイサービスセンターのページで毎週の献立表を掲載することにしました。ぜひご御覧ください。

在宅老人デイサービスセンターのページはこちら→



# 寄付・寄贈ありがとうございます

～社協や心和園へ寄贈がありました。皆さまの善意ありがとうございます～

- 【寄付金】 ▼特別寄附 匿名/ 5,244円(法人運営事業、福祉基金に)  
▼一般寄付 匿名/20,000円(特別養護老人ホーム事業に)
- 【寄贈品】 ▼心和園 木村道浩さん/おむつ、入れ歯洗浄剤  
▼法人へ古切手 小野繁子さん、鈴木照美さん、大平裕一さん、大地みらい信用金庫厚岸支店

【新企画】  
第1回

## あっけし昔話

今だからこそ聞きたい、  
厚岸の、昔々のこと。



氷まさかり



S36年の若竹會 馬で山車を引く



お祭り/カラオケが大好き  
丹羽 武彦さん(88歳)

新企画の記念すべき第一回目は、若竹在住の丹羽武彦さん。  
昔の思い出をたずねると、「小学生から父の手伝いをした氷下待ち網漁の厳しい寒さは忘れられない」と話す。  
十二月中頃、厚岸湖が結氷し始めると、一家で湖の北岸「神岩」へ引越し、氷が厚くなると氷に穴を空け、網を設置し漁が始まる。食事は麦飯やイモを主食に、獲れた魚も一部は寒干しして食べた。移動や荷物の運搬は、今はスノーモービルなどだが、昔は三頭の犬でそりを引っ張ったそう。  
「今より食べるものは少ないけど、寒干ししたカレー、コマイは美味しかったよ。」

「犬はお利口で力強く、網場から網場へソリに道具を積んで先に移動するんだよ。犬が好きだから三頭の中でもリーダー犬を育てることが難しくも、楽しかったな。」と楽しみながら手伝いをしていたそうだが、  
「西風が吹雪いたときはとにかく寒かった。人間厳しい記憶は忘れないもんだね。神岩は今はどうなっているかな。」と昔の記憶に想いを馳せた。  
丹羽さん宅には今でも当時使っていたランプや氷まさかり(写真)などが残っており、話が尽きなかった。丹羽さんは昔の氷下待ち網漁のお話を、オリジナルで自伝にしています。  
：自らを「お祭り男」と呼ぶ丹羽さんは、約七十年前から今まで厚岸の祭りに関わり、伝統の若竹獅子舞を愛し、後世に伝えていく。  
「慣れてくると、こうしたほうがカッコいい、と踊りが変わってきたりもするけども、教えるときは昔習った時のままの伝統を守り、今もたまに指導しているよ。」と伝統を重んじる。  
最後に、昔と今の町の変化をどう感じるかとたずねると、  
「昔は人口が倍以上だったから子どももたくさんいて、町にも祭りにも活気があったし、友達もたくさんきました。ケンカもたくさんあったけどね。人が少なくなると寂しいね。」と話した。

厚岸町社協広報『しゃっきー』

2024.7/No.195【編集】広報委員会(以下、委員)

米内山紘輝、奥山夕紀、松尾麻理子、芳賀里香

小笠原晶子、穂谷匡彦、加藤嘉史、本庄祐長

社会福祉法人厚岸町社会福祉協議会

〒088-1115 厚岸郡厚岸町梅香2丁目1番地

厚岸町社会福祉センター内

TEL 0153-52-7752 FAX 0153-52-6044

